



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

今週の土曜日(12月21日)は、冬至です。日本では1年で一番昼が短く、一番夜が長い日です。かぼちゃを食べたり、柚子湯に入ったりする風習があります。これらは、体が温まることや、ビタミンをとって冬を元気に乗り切ろうという、昔の人の知恵です。すごいね!



2年生がおもちゃ大会を開きました。お金(葉っぱやどんぐり)を払って受付をすると、ていねいに遊び方を教えてくれました。ペットボトルやプラスチックのコップ、紙パックなど身近にあるものを使った、手作りのおもちゃが、とても良かったです。



5年生の理科の実験では、電磁石を作って引き付ける力を調べていました。写真では、電磁石の両端にたくさんのクリップが、鎖のように吸い付いていますね。いろいろな発見があり、びっくりすることが起きるのが、実験の楽しいところです。



持久走大会がありました。全員が最後まであきらめず、走り切りました。たくさんのお家の人や地域の人も応援してくれました。自分がライバルですよ、とお話したように、自分の目標に向かって、一生懸命に頑張っている姿は、とても立派でした。



大三島小学校の校訓は「カー杯 今を生きる」ですね。正門の脇に、椋鳩十さんの石碑があります。椋鳩十さんは児童文学作家で、生きるすばらしさ、命の尊さを、動物の生き様を通して伝えてくれる作品を残しました。5年生の国語の教科書にも「大造じいさんとガン」という作品が収録されています。この言葉は、自分は今を精いっぱい頑張っているだろうか、と考えさせられる言葉です。過去や未来ではなく、「今」をどのように過ごすかが大切です。今、一生懸命考えて、今、一生懸命行動して、今、カー杯生きて、より良い未来を拓きましょう。

